

骨粗鬆症リエゾンサービスにおける当院の取り組みに関する研究

1. 研究の対象

当院に2011年1月1日～2012年12月31日および2018年1月1日～2019年12月31日に、大腿骨近位部骨折で入院された患者さん

2. 研究目的・方法

当院では骨粗鬆症治療において骨折発生率を低下させるため、治療を助ける骨粗鬆症リエゾンサービスがかかわっています。

この研究では、骨粗鬆症リエゾンサービスの取り組みが始まる前と後の患者さんの情報を比較し、骨粗鬆症リエゾンサービスが患者さんにかかわることで、骨折が連鎖してしまう二次性骨折の予防に影響を与えるかを検討します。過去の電子カルテの診療情報を使用し二次性骨折の発生率を比較し、骨粗鬆症リエゾンサービスの有効性を検討することを目的としています。

研究期間は病院長許可日から2023年6月20日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテの診療録情報:性別、年齢、骨折部位、対側骨折の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院

リハビリテーション技術科 研究責任者：寺田 僚介

0538-38-5000（代表）